

# 中津川市 財政の健全化に 関する指標

市の財政状況がどのような状態なのか、将来に不安はないかなどを判断するために、決算時に「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定し、公表することが地方公共団体の財政の健全化に関する法律で定められています。  
令和4年度決算における中津川市の健全化に関する指標について財政課職員が解説します！  
問 財政課（宮内線437）



## 健全化判断比率

指標	内容	早期健全化基準	令和4年度	令和3年度
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	12.16%	発生していません	発生していません
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別会計・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	17.16%	発生していません	発生していません
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	25.0%	6.7%	6.6%
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	350.0%	発生していません	発生していません

## Q 借金返済額は妥当なの？

A 市の令和4年度決算の「実質公債費比率」は6.7%で基準値（25%）を下回っているため、健全な状態であり、**借金返済額は妥当な水準と言えます。**

「実質公債費比率」は、収入に対して返済額がどの程度の割合なのか、借金返済の負担が大きすぎないかをチェックするものです。数値が少ないほど、収入に占める借金返済の負担が小さいことを表しています。市では今後、リニア関連事業などが本格化することから、基準値内における増加を見込んでいます。

家計に例えると…

家や車のローンなど、その年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けの状態であり、ローン返済に追われ家計が苦しくなる可能性が高いことを示しています。



## Q なぜ借金をするの？

A **みんなで公平に負担するためです。**

市の公共施設（学校、病院、道路など）は、現在整備を行う施設であっても、将来にわたり継続して使用する施設です。そのため、建設費用を将来にわたり施設を使用する人**みんなで平等に負担**するために分割する意味で借金をします。

新たな市庁舎を建設する場合に例えると…

借金をしないで建設すると…

建設時の  
市民のみが負担



借金をして建設すると…

世代間で  
平等に負担



## Q 将来の市民に負担はかからないの？

A 市の令和4年度決算の「将来負担比率」は発生していないため、健全な状態であり、**負担がかかる可能性は低いと言えます。**

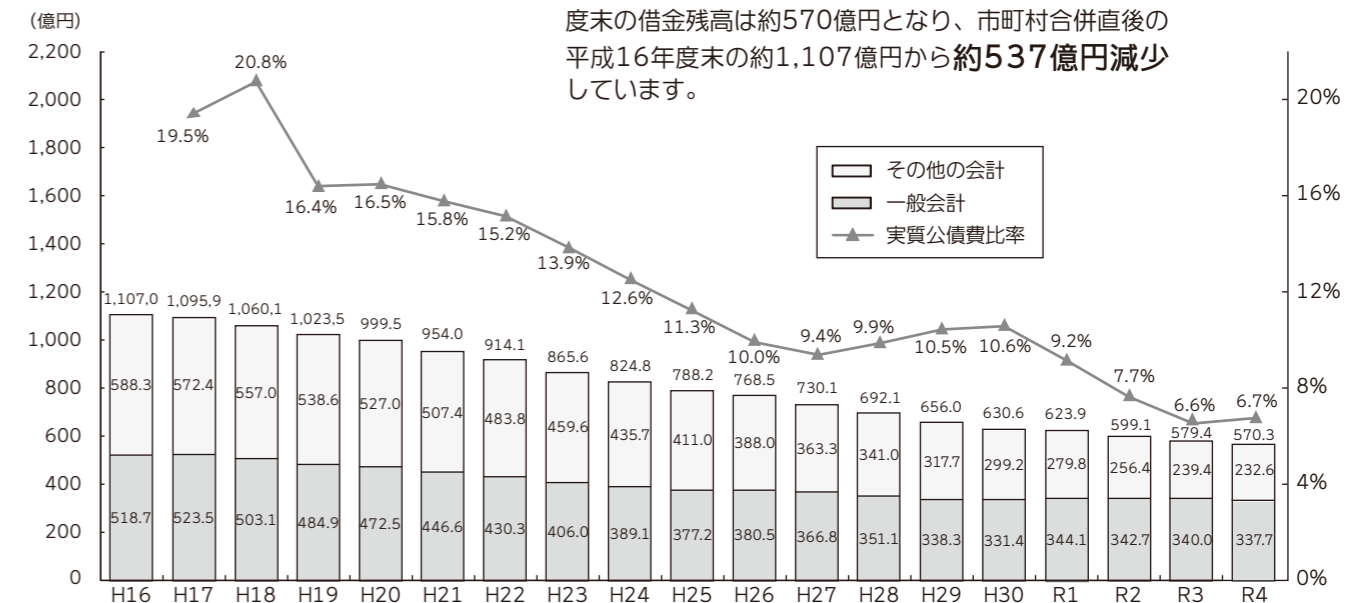
「将来負担比率」は、借金などこれから支払いを約束しているお金の合計が収入に対して大きすぎないかをチェックするものです。数値が小さいほど、将来財政を圧迫する可能性が低いことを表しています。

家計に例えると…

家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済が必要となる総額が、年収の3.5倍以上になった場合、身の丈を超えた借金であり、円滑なローン返済が難しくなる状態であることを示しています。



## 実質公債費比率と借金残高の推移



## 資金不足比率

各公営企業会計（水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計）の事業規模に対する資金不足額の割合

経営健全化基準	令和4年度	令和3年度
20.0%	発生していません	発生していません

## 中津川市の財政状況は「健全」です。

財政健全化に関する指標は、各基準を上回ると財政健全化計画や経営健全化計画を策定し、財政再建に取り組む必要がありますが、中津川市の健全化に関する指標は各基準をいずれも下回っているため、財政状況は「健全」と言えます。